

コロナ禍における紋別港の取り組み

みなとオアシスもんべつ運営協議会

●ウォーターフロントフェスティバル 2021

コロナウイルスの影響により、市内の主要イベントの中止が相次ぐ中、港からこの地域を盛り上げようと感染症対策の徹底、多くの団体の協力を得てウォーターフロントフェスティバルを開催しました。

紋別港「ガリヤ地区の振興」と「医療に従事する皆



レーザーアート・イルミネーション

様への感謝」を込めてレーザーアート、イルミネーションを点灯。それと同時に、地元バンドグループの生演奏が行われ、光と音のコラボがみなとの夜を彩りました。

「笑顔でハートフルな夏に」をキーワードに、コロナで暗いムードを吹き飛ばす思い出に残る1日になりました。



バンド生演奏

●みなとの花いっぱい運動

平成18年度から地域の特色を生かした魅力ある「みなとまちづくり」の実現に向け行われてきた植栽事業を今年も開催。春に紋別港の景観を花の景色で彩る緑化植栽を実施。多くの市民・団体の皆様の協力を受けてプランター12基を植栽しました。

夏には、行動が制限されるなか、みなとと道路の景観植栽に花樽70樽を設置しました。



みなとの花いっぱい運動

●遊びたガリヤフェスティバル 2021

毎年8月に開催される海と楽しむイベント「遊びたガリヤフェスティバル」に今年はジギスカンの無料試食など、みなとオアシスもんべつ運営協議会も協力。安心してイベントに参加できるよう検温や手指消毒等、コロナ感染症対策を徹底し開催しました。

スイカ割りやビーチフラッグス、流水渡りレースなどが行われ、子供も大人も楽しめるイベントとなりました。



スイカ割りゲーム